

「金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナー」を開催

2014年1月14日

1月14日（火）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、東京大学大学院理学系研究科 教授 菅 裕明先生を迎え、「非古典・特殊ペプチド創薬のススメ」と題して、金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナーを開催しました。

標的となるタンパク質に特異的に結合する分子を着実に取得できる技術は、多くの研究者にとって夢の技術です。菅先生は目的のタンパク質に高い特異性と親和性で結合する環状ペプチドを着実に取得するRaPID技術を独自に開発しました。セミナーでは、RaPID技術の概要と取得された特殊環状ペプチドの構造、創薬につながる活性について講演していただきました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら四十数名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



次世代重点研究プログラムセミナー

演者：

菅 裕明先生

(東京大学大学院理学系研究科・教授)

演題：

非古典・特殊ペプチド創薬のススメ

日時：2014年1月14日（火）17:00 ～ 18:00

場所：がん進展制御研究所 4階 会議室

菅裕明先生は、複数の独自技術、人工リボザイム、遺伝暗号リプログラミング、特殊ペプチド翻訳合成系を確立するとともに、これらを巧妙に組み合わせ、標的分子に極めて高い親和性で結合する特殊ペプチドを着実に取得する技術を創りました。「特殊ペプチド創薬」は、日本発の次世代創薬の基盤となり、将来、この技術を使った分子標的薬が少なからず生まれると予想されます。

今回、菅先生には「非古典・特殊ペプチド創薬のススメ」と題してご講演頂きます。

皆様奮ってご参加ください。

連絡先：松本邦夫（がん進展制御研究所）（Tel：076-264-6745）